

津島市民病院改革プラン市民意見募集 結果一覧

番号	意見内容	回答内容
1	<p>津島市民病院の果たすべき役割の中にあります、”保健予防・介護福祉の働き手や住民と連携し主導的な役割を担うこと”の意味するところには津島海部薬剤師会の行っている店頭からの患者様をはじめとするその家族他の地域住民に対する啓発活動は津島市民病院の医薬分業の開始以来、医薬品の特性や服用における安全性等を中心に実施され、患者様やその家族の方々の医薬品の安全な取り扱いの知識レベルはかなり向上しております。介護事業についても、介護認定審査会への参加や「まちかど介護相談薬局」（薬局店頭で気楽に介護保険・サービスの相談を受ける内容）事業を継続し研修等を行っているところです。医療提供施設である保険薬局は今後も津島市民病院との連携の一端を担ってゆけるものだと思います。住民の近くにある薬局との連携も今後の方針に入れて頂きたいと思います。</p> <p>また、2004年9月から実施しています「くすり安心電話」（夜間の医薬品問い合わせ相談事業）も海部津島全域の1次救急に貢献している事もお伝えいたします。内容については東海薬剤師学術大会等に発表して評価を得ています。</p> <p>津島海部薬剤師会が目指しているこの地区での医薬分業は、今後患者様の薬物療法におけるリスク改善に、一次医療二次医療の途切れることのない薬薬連携が必ず必要になります。病院の事業として病院内の薬物療法情報と開局薬剤師が必要と思われる薬物療法の情報が相互に連携しスムーズに行われるような取り組みが必要に思います。</p>	<p>良質な医療を効率的に提供するためには、患者さんを中心に、病院や診療所といった医療機関が互いに協力しあう医療連携が必要です。津島市民病院におきましても、積極的に、厚生連海南病院をはじめとする海部医療圏内の公立・公的病院との連携や、かかりつけ医（診療所）等の地域の医療機関との連携を進めてまいります。そして、津島市民病院が各医療機関との連携を推進していくにあたりましては、当院の薬剤室と地域の薬局との連携は不可欠なものと考えております。</p> <p>お寄せいただきましたご意見に関しましては、「津島市民病院改革プラン 14 ページ 第4章 4-3) 地域の医療機関との連携」に、津島海部薬剤師会と処方薬及び薬物療法の情報の共有化を推進していく旨を追記いたしました。また、あわせて「用語解説」に、薬薬連携に関する解説を追記いたしました。</p>
2	<p>「第3章の経営効率化」について、各年度のいろいろの指標が書いてありますが、一般会計からの繰入額以外に、出資金や貸付金などの形で、市民の税金が入っているのですかいないのですか、また、入っているのであればいくら入っているのかわかりません。きちんと明示して市民の理解を求めてほしい。</p>	<p>津島市民病院（津島市民病院事業会計）が、津島市（一般会計）から受け入れられる資金には繰入金他に借入金があり、この借入金は津島市（一般会計）へ計画的に返還していくこととなります。</p> <p>お寄せいただきましたご意見を参考に「津島市民病院改革プラン 5 ページ 第3章 1 経営目標」に、「一般会計からの借入金」欄を追記いたしました。</p>
3	<p>「第3章の経営効率化」について、病院ごとに地域の実情が違うのですから、5年間で無理に収支を黒字にするのはおかしい。</p>	<p>良質な医療を安定的・持続的に提供していくためには、経営の健全化が必要と考えます。国の公立病院改革ガイドラインは3年間で黒字化を実現することを求めています。津島市民病院では現在の経営状況等から鑑みて5年間を目標に段階的に黒字化を実現していきたいと考えております。</p>
4	<p>隔週でもよいので午前中くらいは土曜日に開院するのはどうですか。</p>	<p>医師や看護師の充足など医療提供体制の充実を図りながら、病院内の経営会議等において検討してまいります。</p>

津島市民病院改革プラン市民意見募集 結果一覧

番号	意見内容	回答内容
5	人間ドック的には未病防止の検討も一考すべきではないですか。	津島市民病院の人間ドックでは、病気の早期発見、身体異常などの発見のため各種ドックのコースや検査を用意しています。病気の予兆、疑いが見つければ、必要に応じ、専門医の診療を勧めています。ご意見のように、病気の発見はもとより、未然に防ぐのも重要です。現在、当院では糖尿病教室・移動健康教室・公開講座・お出かけ講座などを行っていますが、今後も一層充実していきます。
6	この病院に非常に好感をもっています。医師はじめ看護師、スタッフの皆さんとても親切です。地域医療とのコミュニケーションによる本来の中核医療機関の地位を守られるのはどうでしょうか。	お寄せいただきましたご意見のとおり、地域の医療機関等との連携を進めながら、海部地域の中核的な医療機関としての役割を果たせる病院となるよう取組を進めてまいります。
7	人材は使い方次第。人材発掘に今一度、目を向けるべきではないですか。	お寄せいただきましたご意見のとおり、人材の発掘は大変重要な課題と考えます。「津島市民病院改革プラン 7ページ 第3章 2目標達成のための取組 I 医療提供体制の整備」に掲げる取組を通じて、人材の発掘を進めてまいります。
8	プラン案13ページの「■ 再編・ネットワーク化における各病院の位置付け」の箇所にも、「病病連携」という言葉があります。病院と病院が連携するという意味の言葉でしょうか。「病診連携」という言葉なら聞いたことがありません。	良質な医療を効率的に提供するために、病院とかかりつけ医（診療所）が連携することを「病診連携」、病院と病院が連携することを「病病連携」といいます。お寄せいただきましたご意見を参考に、「津島市民病院改革プラン 20ページ 用語解説」に、病病連携に関する解説を追記いたしました。
9	入院患者の家族へのサポート体制をもっと充実したものに工夫をしてほしい。	お寄せいただきましたご意見を参考に、「津島市民病院改革プラン 9ページ 第3章-2-IV-2 医療・サービスの質の向上」に掲げる取組に必要な視点として、患者さんの家族の目線に立った医療等の提供と満足度の向上を追記いたしました。
10	プラン案10ページに、「年1回、外部有識者で構成する「津島市民病院改革プラン評価委員会」を開催、年間の取組結果について評価・助言をいただきます（17頁「第6章 外部評価組織」参照）。」とありますが、年1回の評価・検討で必要十分なものと言えますでしょうか。少なくとも四半期～半期に1回程度のフィードバックを実施しないと、多様化する外部環境の変化・関連法制度の改正適用による影響等について、対応が遅れ、適切な軌道修正のモニタリングが実施できないような気がします。	改革プランの進捗管理は、病院内の自己評価を基本としており、これについては適宜実施をしております。外部有識者による評価委員会は、病院の自己評価を客観性・専門性をもって補っていただくために設置しており、年1回の開催を想定していましたが、ご指摘のように内外の環境変化等に対応すべき事態も想定されますので、年1回に限定することなく、必要な都度、評価委員会を開催し、取組を評価いただくことといたします。お寄せいただきましたご意見に関しましては、「津島市民病院改革プラン 10ページ 第3章-3 取組の進行管理」中の「年1回」を「年1回以上」に修正いたしました。

津島市民病院改革プラン市民意見募集 結果一覧

番号	意見内容	回答内容
11	<p>プラン案8ページに、「5 病院PRの充実 出前講座やイベントへの参加など地域に根ざしたPR活動を進めるとともに、病院ホームページや広報紙を通じた広域的なPRを進めます。【主な取組】 ・出前講座による病院PR ・イベント等を通じたPR ・ケーブルテレビなどを活用した広域的なPR」とありますが、病院の集客力は上記のような公式的な啓蒙活動のほか、地域住民間のいわゆる評判・ウワサによるところが大きいと思われる。よって、なかなか明文化することは困難なのかもしれませんが、地域住民間のレピュテーション（評判）リスクのコントロールを如何に実施するか必要であると思われる。方法論としては、レピュテーション担当者が津島市民病院のレピュテーションの脅威への早期発見・対応や病院利用者以外の適時のアンケート調査等により実施することが考えられるでしょうか。</p>	<p>病院に対する評判やうわさは、病院経営に大きな影響を及ぼすものと考えております。評判やうわさのリスクを回避するためには、まずは、医療の質や満足度を一層向上させることが基本になると考えます。しかし、ご指摘のとおり評判等のリスクに対応する視点も重要と考えますので、地域に根ざしたPR活動などを通じて地域の皆様の動向把握や対応をしていきたいと考えております。お寄せいただきましたご意見に関しましては、「津島市民病院改革プラン 8ページ 第3章-2-II-5 病院PRの充実」に掲げる各取組に必要な視点として、地域住民の動向把握等を追記をいたしました。</p>
12	<p>プラン案7ページに、「6 経営の強化 病院経営の体制を強化するとともに、職員の経営参画意識を醸成するための取組を進めます。【主な取組】 ・経営戦略会議の充実 ・市長部局と病院との情報共有等のための会議の実施」とありますが、経営戦略会議のメンバー・方法が具体的に公表されていない気がしますが、資金繰りが非常に厳しい現段階としての対応として実際の運用は大丈夫なのでしょうか。また、経営能力のある外部の専門家（監査法人系のコンサルティング等）を用いた資金繰り回復計画を早期に実施し、プラン案をより実行可能性のある強固なものとしたほうが良い気がします。また、「市長部局と病院との情報共有等のための会議の実施」を明文化されていますが、情報共有等を実施するのに会議を実施することは重要と思います。しかし、早急な対応が必要とされる案件に対する対応が今後重要かと思われるので、対応の実施方法の策定及びその明文化を実施することが必要ではないでしょうか。</p>	<p>経営戦略会議は、院長はじめ医師・看護・技術・事務など院内の全部門からのメンバーにより構成され、改革プランの進捗状況やそれに対する対応の検討・決定等をしてまいります。外部コンサルタントについては、現段階では活用を予定していませんが、改革を進める中で必要性を検討していきたいと考えております。市長部局と病院との会議につきましては、ご指摘のとおり、早急な課題への対応が重要になってくると考えております。お寄せいただきましたご意見に関しましては、「津島市民病院改革プラン 7ページ 第3章-2-I-6 経営の強化」に掲げる取組の一つである市長部局と病院との会議の目的として、早急な課題への対応を追記をいたしました。</p>
13	<p>プラン案7ページ「2 地域連携の強化」に「紹介率の向上等を進める」とありますが、紹介率は全体の患者数により変動するものなので、紹介患者数の向上とした方が適切ではないでしょうか。</p>	<p>お寄せいただきましたご意見を参考に、「津島市民病院改革プラン 8ページ 第3章-2-II-2 地域連携の強化」中の「紹介率」を「紹介患者数」に修正をいたしました。</p>